



学生たちの活動場所、 自分たちで作っちゃいました！

問 市民協働課 (☎内線 325) 担当課 政策推進課 (☎内線 307)



大学生や高校生のための域学連携拠点「coagari」は、大津川市では、市の魅力と活力の向上に役立つ学生活動を推進するため、中心市街地に大学生や高校生のための域学連携拠点「coagari」を整備しました。

「coagari」は、大学生や高校生が地域の方々や地元企業・行政・教育関係者など社会の多様な方々と関わりながら、学生・生徒の強みを生かした中津川のまちの魅力創出とその発信を目指します。また、学生・生徒に「会議の場」、「勉強の場」、「交流の場」として利用していただくことができます。

「coagari」の名前は

学生が考えたもので、学生・生徒・地域・企業・行政等が協力していく「co(共同)」と、「小上がり(koagari)」から、名前が付けられました。また、ロゴも学生たちで考え、複数のロゴデザインから、ロゴを決定。さらに、活動拠点の改修については、講師から床板の張り方、木の特質などを学びながら自分たちで床板を張り、掘りごたつを作るなどの改修をしました。大学生・高校生であれば、自由に利用できます。多くの学生・生徒の皆さんの利用をお待ちしています。



まちづくり学習会に参加した地元高校生のコメント

・初めてまちづくり学習会に参加し、この中津川市のいいところ、課題を知ることができました。自分が生まれ育ち、これからも中津川市に住む者として、さまざまな課題を改善し、良いところをさらに気づき発信していければいいなと思っています。

中津高3年 三尾浩也さん

・今回のまちづくり学習会を通して地域の良さや課題を再発見することが出来ました。大学でも地域政策について学びたいと思っているので、今回の経験を糧にして勉強し、将来中津川市に還元できるようにしたいです。

中津高3年 奥村稀良さん

域学連携拠点
「coagari」
2月11日(祝)オープン！
ところ 本町天満屋
(中津川市本町2丁目6-27)
利用料 無料
※2月11日午後から利用可

文京学院大学



にぎわいが減少しつつある中心市街地を盛り上げるため、中津川市の観光PR動画の作成・発信に取り組んでいます。夏の夕方に開催された六斎市では、中京学院大学の学生と共同で、中津川市の花「さらさどうだん」をモチーフとした「さらさどうだんライト」を来場者とともにつくったり、ライトに明かりをともし、浴衣を着た若者がまちをねり歩くことで活気が生まれました。その風景を撮影して中津川をPRする動画を作成し、Youtubeなどで放映することで中津川市の魅力を市内外に伝えています。

中京学院大学



坂下地域では名産のソバがあるが、冬季は観光客を呼び込める名産品がない。そこで、近年鳥獣被害対策で増えているイノシシの肉を冬季の名産品にできないかと取り組んでいた地域の方と連携し、イノシシのひき肉レシピ作りに取り組みました。学生は坂下地域の方と交流しながら、8つのオリジナルレシピを考案し、地域の方を中京学院大学瑞浪キャンパスに招いて、試食会を開催したり、サラショッピングセンターや坂下そば祭りでもイノシシレシピを披露してPR。今後は店舗でのメニュー化を目指します。

学生の皆さんの声を聞いてみませんか

大学生と市内高校の域学連携の取り組みの成果発表会が開催されます。上記以外にも阿木高校、名城大学、名古屋工業大学、東京工業大学の活動も知ることができます。

とき 2月23日(土)
10:00~13:30
ところ 健康福祉会館 4階多目的ホール

まだまだあります 域学連携の活動

大正大学以外にも多くの大学生が市内で活動しています。
平成30年度の活動を紹介します。

名古屋外国語大学



地域おこしの実態を現場で学び、地域の課題を知り、解決するために、馬籠地域、中津本町地域で宿泊研修に取り組みました。馬籠地域では、外国人観光客や、お店の方へアンケートを行い、外国人観光客の受け入れ状況などを調査。地域の課題を明らかにし、ごみ箱の設置などの改善案を提案しました。本町地域では、おいでん祭で本町地域にお客が流れてこないという課題を解決するため、おいでん祭当日に浴衣の着付け体験ができるブースを本町地域に出店し、にぎわいづくりに一役買いました。

岐阜大学



阿木地域で増えている空き家。この課題を解決するため、「使える空き家を増やすための提案」に取り組みました。学生たちは阿木地域の方や、空き家所有者の方にアンケートを実施し、阿木地域の空き家の実情などを調査。調査の結果から、若者の視点で「空き家のイメージ」、「空き家利活用のための課題」や「空き家の地域への影響」について考え、地域の皆さんに空き家の利活用について提案を行いました。地域にとっても解決策を考える良い機会となりました。